

## 事前評価チェックシート

計画の名称： ハード・ソフト一体的な対策による氾濫リスクの緩和および河川管理施設等の老朽化対策（防災・安全）緊急対策

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①河川整備計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が河川整備計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地位の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 2) 緊急性、必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 5) ハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

事前評価	チェック欄
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
III. 計画の実現可能性	
1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性	
3) 継続的な防災意識向上につながる展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
⑥円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月22日

計画の名称	ハード・ソフト一体的な対策による氾濫リスクの緩和および河川管理施設等の老朽化対策（防災・安全）緊急対策												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	秋田県、三種町、大館市												
計画の目標	近年、床上浸水被害が発生している地域において、ハード・ソフト対策を一体的に実施し、氾濫リスクを緩和することを目的とする。 また、河川管理施設等の長寿命化計画の策定及び老朽化の進行等により機能が低下した河川管理施設等の更新又は点検等の実施による改善措置を講ずる。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,330	A	6,310	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0.31	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	【家屋浸水リスクの緩和】最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練を実施した市町村の割合 最大クラスの洪水に対応したハザードマップを作成・公表し、住民の防災意識向上につながる訓練を実施した市町村の割合	0%	0%	100%
2	【家屋浸水リスクの緩和】洪水被害が多発している都市近郊河川の浸水被害を解消させる。浸水被害解消面積 A=11ha 河川改修等により、浸水被害が解消される面積（対象区間の想定氾濫区域を整備延長比により換算した面積） (浸水解消面積) = (想定氾濫面積) × (H28~H32整備延長) / (全体計画延長)	0ha	5ha	11ha
3	【河川管理施設等の老朽化対策】個別施設ごとの長寿命化計画の策定率 個別施設ごとの長寿命化計画の策定率	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-001	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	特構（1）	—	特定構造物改築事業	長寿命化計画策定、健全度調査	秋田県内	■	■				690	—	
	A03-002	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川（2）	—	三種川広域河川改修事業	用地買収、護岸（L=500m）、築堤・掘削（L=400m）	三種町	■	■	■	■	■	700	—	
	A03-003	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川（1）	—	支川下内川広域河川改修事業	築堤・削掘（L=900m）、取水堰1基	大館市	■	■	■	■	■	660	—	
	A03-004	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	広域河川（1）	—	芋川広域河川改修事業	掘削・築堤（L=1,600m）	由利本荘市			■	■	■	460	—	
	A03-005	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川（1）	—	斉内川流域治水対策河川改修事業	橋梁（1橋）	大仙市			■	■	■	1,960	—	

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
河川事業	A03-006	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川 (1)	—	新城川流域治水対策河川改修事業	掘削 (L=200m)	秋田市			■	■	■	510		—
	A03-007	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	流対河川 (1)	—	支川太平川流域治水対策河川改修事業	掘削 (L=100m)、橋梁 (1橋)	秋田市			■	■	■	890		—
											小計						5,870		
その他総合的な治水事業	A08-008	河川	一般	秋田県	直接	秋田県	—	—	米代川圏域総合流域防災事業 (富士川)	掘削・築堤 (L=200m)	鹿角市			■	■	■	440		—
											小計						440		
											合計						6,310		



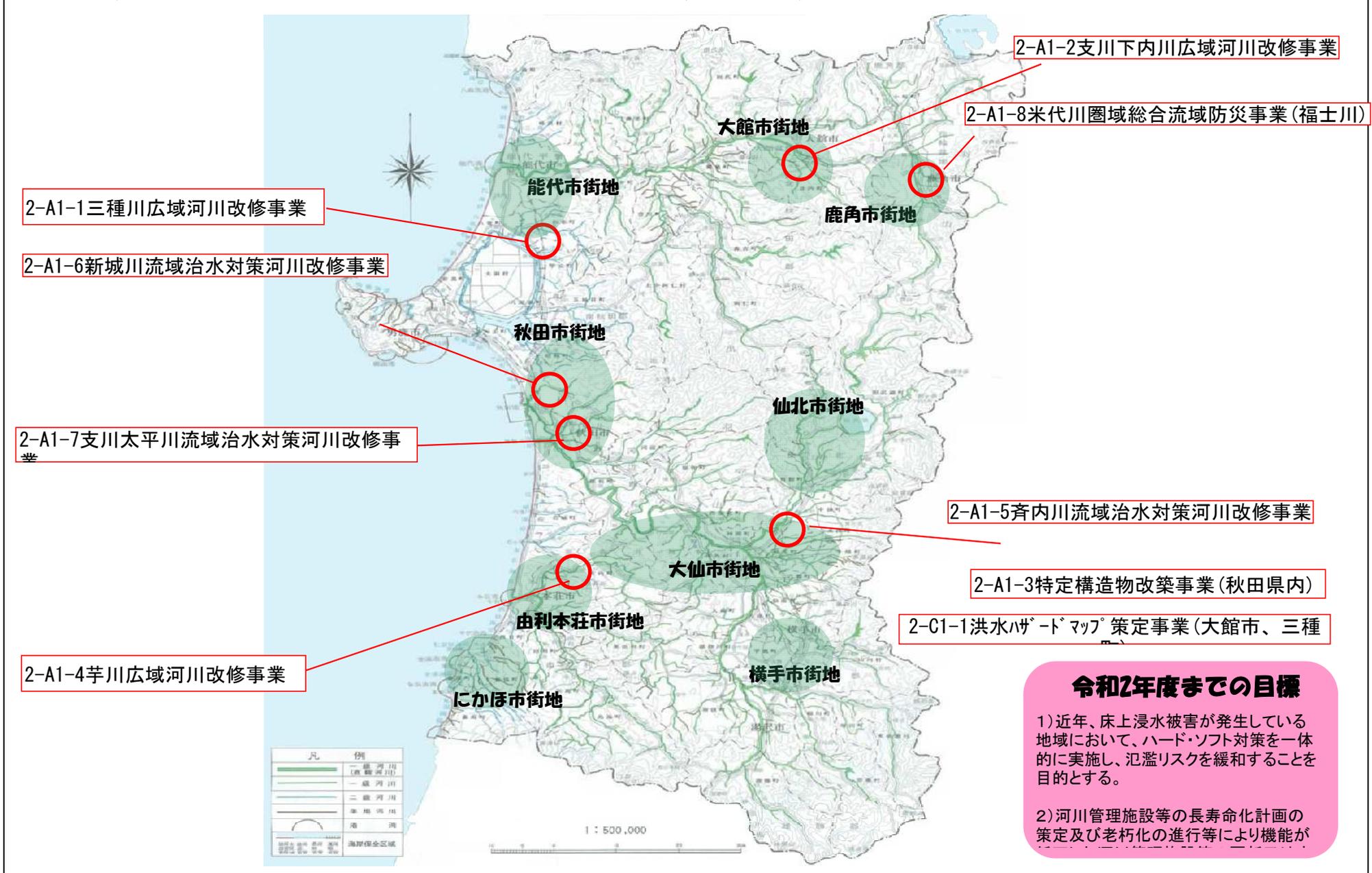
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	306	210	575	753	449
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	306	210	575	753	449
前年度からの繰越額 (d)	0	169	157	254	559
支払済額 (e)	137	221	478	448	677
翌年度繰越額 (f)	169	158	254	559	331
うち未契約繰越額 (g)	72	51	110	72	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	23.52	13.45	15.02	7.14	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	低価格入札による。	用地・補償交渉の難航による。	用地・補償交渉の難航による。		

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	2 ハード・ソフト一体的な対策による氾濫リスクの緩和および河川管理施設等の老朽化対策 (防災・安全) 緊急対策		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	秋田県、大館市、三種町



**令和2年度までの目標**

1) 近年、床上浸水被害が発生している地域において、ハード・ソフト対策を一体的に実施し、氾濫リスクを緩和することを目的とする。

2) 河川管理施設等の長寿命化計画の策定及び老朽化の進行等により機能が